



成果指標				
成果指標	文化財企画展の来場者数・文化財関連行事の参加者数			
指標設定の考え方	文化財を後世に伝えるため、できるだけ公開する等その文化的活用に努め、市民の文化財保護に関する興味関心を高める場を提供することができたか。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	650	10250	8250	0
実 績	697	13099	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	専門的な分野であるため、専門的な知識・経験を有する職員が従事するのが望ましい。ただ、文化財の範囲は多岐に亘るため、共に業務にあたる事務職員についても知識・経験及び文化財への理解のある者がサポートする体制を整える必要があると思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	専門的な分野であるため、専門的な知識や経験を有する職員が従事するのが望ましい。適切な文化財保護事業を行なうために文化財保護審議委員に意見を求めることも必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	今後建設される図書館・文化ホール等の複合施設において、収集された文化財の適切な保管、活用を図るため、関係機関と連携し具体的な事業計画を策定するなど、更なる事業推進を求める。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	